

## 第4回 学校運営協議会開催報告

1. 開催日時 令和 5年 2月 24日 (金) 午後1時 ～ 午後2時30分

### 2. 協議内容及び結果等

#### (1) 令和4年度学校自己評価について

〈主な意見〉

- ・児童アンケートで「学校は好き」「勉強の内容がわかる」の割合が増え、保護者アンケートでも「学校や学童のできごとをたくさん話すようになった」「積極的になってきた」との意見がある一方で、子どもたちの自己肯定感が低いのはどうしてだろう。ボランティアとして、子どもたちの心に寄り添う支援を続け、認めて褒める声掛けをしていきたい。
- ・家庭での読書週間をつけていきたいが、保護者も活字を読む習慣が減ってきているのではないだろうか。
- ・読書が好きな児童が増えてきている一方で、家庭での読書時間が十分とれていないことがわかる。家庭では、読書よりスマホやゲームをする時間が増えてきていることも要因の一部だと言える。保護者アンケートの質問の仕方、「子どもと一緒に本を読む時間を作っている」や「毎日〇分読書をしている」など、具体的な文言に変えていく必要がある。



#### (2) 令和4年度学校運営協議会評価書について

〈主な意見〉

- ・PTA 活動がなくなってきた学校も出てきているようである。さらに、学校と地域のつながりを深めていく必要がある。
- ・CS 講習会に参加して感じたことは、子どもたちのために活動していこうという当事者意識をもつことが大事だということ。

#### (3) 熟議 「本年度の活動を振り返り、来年度の活動をよりよいものにしていこう」

〈学校支援部〉

- ・子どももボランティアも互いに元気をもらっていると感じている。算数や音楽、ミシンの授業など、子どもの心に寄り添う支援ができていると感じる
- ・市民センターと保育所と学校が近くにあり、その立地条件を生かした活動ができている。
- ・保護者として子どもとの関り方に悩んでいる。家では怒ることが多く、そのことが子どもの自己肯定感の低下にもつながっているのではないかと感じる。保護者、教職員、ボランティアそれぞれが自己肯定感の上昇につながる声かけをしていきたい
- ・クラブ活動に地域の人を呼び、得意なことを教えてもらうなどしてはどうか。クラブで学んだことを発信する場を設け、子どもの地域貢献へつなげられないか。
- ・今年度ボランティアが6人増えた。自分たちがボランティアをして楽しんでいる姿を見てもらえたからだと感じる。これからも、楽しく元気な姿を伝えていきたい。

〈地域協働部〉

- ・花壇づくりは完成した。今後は、各学年が花壇を使うときに協力していく。
- ・「子どもを守る家」について 協力者の依頼と新規名簿が完成した。来年度は、「子どもを守る家」に協力していただいた方と子どもとの顔合わせをする機会をつくりたい。
- ・鮎つかみは来年度実施予定。
- ・今年の防災訓練は、子どもたちが地域の人と一緒に避難所設営の体験ができたことは大きな成果であった。来年度、内容をさらに内容を充実させたい。
- ・地域とPTA 合同で草刈りを行ったが、一緒に作業することでつながりも深まるので合同開催を続けていきたい。
- ・来年度の運動会と「こもこもふれあいまつり」は、学校と地域合同で行っていきたい。
- ・ギフチョウ、ハナタカバチの学習会にも地域が参加できるように進めていきたい。